



2026年5月15日

各 位

会 社 名 株式会社はるやまホールディングス
代表者名 代表取締役会長兼社長 治山 正史
(コード番号 7416 東証スタンダード)
問合せ先 財務経理部長 岸本 行正
(TEL 086-226-7101)

通期連結業績予想と実績値との差異及び (個別) 営業外費用計上に関するお知らせ

2026年3月25日に公表しました2026年3月期の通期連結業績予想と本日公表の実績値に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

また、個別業績につきまして営業外費用(貸倒引当金繰入額)を計上いたしましたので併せてお知らせいたします。

記

1. 連結業績予想と実績値との差異について

2026年3月期通期連結業績予想と実績値との差異(2025年4月1日~2026年3月31日)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前 回 発 表 予 想 (A)	34,500	△850	△460	△980	△62.04
実 績 値 (B)	35,212	△657	△297	△1,094	△69.38
増 減 額 (B-A)	712	193	163	△114	—
増 減 率 (%)	2.1	—	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (2025年3月期)	36,135	625	964	670	41.15

差異の理由

当社グループは、主力商品の需要が高まる最終四半期連結会計期間(1月~3月)の売上高が他の四半期に比べ大きくなる傾向にあります。3月の最大商戦の結果、売上高・営業利益・経常利益ともに前回発表予想を上回りました。一方で、主に営業店の退店時における原状回復費用に係る資産除去債務について、昨今の資材価格及び人件費の上昇を踏まえ見直した結果、販売費及び一般管理費が112百万円増加いたしました。さらに、業績動向を総合的に勘案し繰延税金資産の回収可能性を検討した結果、繰延税金資産の取崩しにより、法人税等調整額(借方)226百万円を計上いたしました。これらの結果、親会社株主に帰属する当期純利益は、前回発表予想を下回りました。

2. (個別) 営業外費用の発生

単体決算において、連結子会社のはるやま商事株式会社に対する貸付金に対して、債務超過が拡大したことから貸倒引当金繰入額1,089百万円を計上いたしました。

なお、この営業外費用は、連結決算において相殺消去されるため連結業績に影響はありません。

以 上